

## プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人  
札幌市福祉生活支援センター

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

厨房設備整備事業

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

自立援助ホーム“たんぽぽ苑”には生活の基本となる「食」に関して肯定的な体験の少ない児童が入居しております。そのような児童が前向きに社会生活を営むことができるような支援事業の一環として、「食」に関わる活動を行っております。

食事作りから自立した生活に対する自信を芽生えさせ、協力した調理作業から他者への思いやりや人の役に立つことを感じ、食談会を通じて「食」の楽しさを感じ人間的な成長を促しています。

そしてこの活動を行うために、より安全で快適な厨房設備の整備を目的とした事業を行います。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

「食」をテーマにした入居児童への日常支援活動を第1の目的とし、それに伴い耐用年数の経過によって、効率性・安全性が低下した厨房設備の整備を行い、児童の自立へ向けた“自炊・食生活”の訓練を実施します。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

実際に調理作業を行う調理員、施設責任者(ホーム長)から調理作業の手順や、調理業務に掛かる時間を効率化・単純化するための意見を取り入れる検討会議を行い、探すし設置以外の新たな工事を要しないかを考慮し、最新の設備を導入しました。

最新の設備を導入したことで、調理にかかる時間の短縮と火気の使用時に児童や職員が怖がらずに使えるようになり衛生面の向上も図られました。

そして、新品のオープンを導入したことで、お菓子作りをするなど入居児童が積極的に調理や後片付けを手伝う姿もよく見られるようになりました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

厨房設備を新しくしたことで、給食業務の効率が上がりと調理作業の安全も向上しました。本来であれば、経年変化で古くなった設備の入れ替えは法人独自に行うべき事ですが、真如プロジェクト様のお力で事業を実施することができました。

また、この事業の大きな成果として児童の自立訓練のために調理実習を実施し、少しずつではありますが食事作りを学ばせることが出来るようになり、自立へ向けて一歩ずつ前進していることを報告させていただきます。

改めまして真如苑の皆様にご心より感謝申し上げます。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり

